



# 文の丘

阿賀町立三川中学校  
学校だより 第10号  
平成28年12月7日発行



**創立50周年記念式典終了！ 11月26日(土)**

## 伝統の重みに、改めて身が引き締まりました！

天候にも恵まれ、神田町長様をはじめ50人を超えるご来賓に見守られて、粛々と記念式典を行うことができました。その後はアトラクション。50年の歩みをスライドで振り返り、合唱組曲「阿賀野川」の第2曲「故郷の将軍杉」と第5曲「光にむかって」を披露。ご列席の皆様から大きな拍手をいただきました。夕刻から、阿賀の里じばんぐに場所を移して祝賀会。こちらも多くのご来賓がご出席くださり、お祝いの言葉をたくさん頂戴しました。

PTA役員をはじめ実行委員の皆様のお力で、厳粛さと温かさを感じる会になりました！

**ありがとうございました！**



← 合唱組曲の披露。社会人2名を含む、卒業生約40名も加わってくれ、厚みのある歌声になりました！

スライド上映は大好評！ → ステージ緞帳幕に写して、生徒のナレーションで進行。



### 記念式典 校長謝辞から

三川中学校創設の昭和四十一年は名目統合。初代校長吉川喜久男先生によると、「第一年目は三川、谷花、下条の(略)それぞれの校舎で運営され(略)登下校には渡し舟もあり、川の増水、強風時には川止め教室で学習する不便など幾多の困難(略)」

川止め教室は、川を渡れない生徒のために、川向こうにある小学校の一角を借りて出張授業をおこなったもの。学校職員は転覆覚悟で川を渡ったり、時には馬下駅まで歩いて行き汽車に乗ってようやくたどり着くということもあった。

実質統合となった翌昭和四十二年八月二十九日、羽越大災害に見舞われることになる。

現在の三川中学校の根幹は、合唱組曲「阿賀野川」と小中連携校だと思ふ。

今年の合唱組曲を歌いつぐ会では、全五曲のうち二、三年生だけが歌う場面を一年生が食い入るように見つめていた。三川の大自然を悠々と歌い上げたこの合唱組曲に生徒が誇りを感じ、将来へ歌いつごうと決意している現れと受け止めている。

また、十二年目を迎えた小中連携校。その意義は非常に大きい。年少者と触れ合う中で、自分の存在を改めて問い直し、よりよい自分を探してゆく。思春期まっただ中の中学生にとって、かけがえのない貴重な体験と言える。

合唱組曲も小中連携も、生みの苦しみはもちろんのこと、継続し発展させていくために多くの皆様のご尽力があった。そのご尽力の上に今の三川中学校があることを肝に銘じ、現状に満足せずチャレンジし続けることを、生徒、職員一同ここに誓う。三川中学校五十年の輝かしい歴史と伝統を作り上げ、支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げます。



## 新たな生徒会のリーダーが選出されました！

12/1(木)立会演説会とその後の投票を経て、2年生3名が新たな舵取り役となりました。私は「その集団の成長とメンバーの幸せのために動く人」がリーダーだと思っています。自分なりのリーダー像を追求し、活躍されるよう期待します。  
会長：加藤いぶき 副会長：柁木想 事務局長：武藤礼奈

## 2回目の小中合同避難訓練を実施しました！

11/11(金)、「震度6弱の地震が発生し、放送設備が使えない」という想定で行いました。教務室にいる職員が授業中の教室へ行き、肉声で「逃げろ！」と指示。生徒は厚い本やバインダーで頭を保護し、真剣な表情で避難しました。消防署の方から、子どもたちの様子とともに、我々職員の動きを観察・指導していただきました。



## 進路選択の時期。高校説明会、進学説明会開催！

11/18(金)近隣の高校の先生を招いての説明会を、3学年PTA行事として開催。1,2年生も同席し、7校の特色をお聞きしました。12/2(金)には、平成29年度入試に関して、3学年の職員が制度・日程・手続き等を説明しました。(3学年生徒と保護者が対象) **健康に留意してファイト！**

## 生徒が主体となる授業を目指しています！

写真は2年生数学の1場面。ペアを組んで起立し、基本的な問題について一方が答えを声に出し、もう一方が正解かどうかを確認します。【教師一クラス全員】という一斉授業は受け身になりやすく、わからないことをそのままにしまいがち。生徒が**一人残らず**、学習内容を理解できるよう、試行錯誤しています。



## 虫歯。歯肉炎は大丈夫？「お口の健康教室」

11/24(木)学校歯科医の渡邊賢一先生から、1,3年生に指導していただきました。三川中の生徒は虫歯に関しては良好ですが、歯ぐきの健康については課題があるようです。歯ブラシ、歯間ブラシの使い方をお聞きしました。毎日の習慣にできるかがポイントですね。 **目指せ！ 8020！**

大変残念なことに、全国各地で、また新潟県内でも、中高生の死亡事故が連続して発生しています。三川中学校では11月に教育相談を実施し、担任がすべての生徒と一対一で面談しました。また全校生徒が「いじめ見逃しゼロ」に関する宣言を考え、それをもとに学級で話し合いの時間をもちました。

保護者の皆様へお願いしたいのは「お子さんのことで心配、不安を感じたら学校へ知らせてほしい」ということです。学校として責任をもって問題解決に取り組みます。